

平成26年第4回豊後高田市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程〔第1号〕

平成26年12月3日（水曜日）午前10時0分 開会

※開会宣告

※開議宣告

- 日程第1** 会議録署名議員の指名
- 日程第2** 会期の決定
- 日程第3** 閉会中の委員会付託事件〔第67号議案及び第68号議案〕
(委員長報告・委員長報告に対する質疑・討論・表決)
- 日程第4** 閉会中の委員会付託事件〔議会活性化について〕
(委員長報告・委員長報告に対する質疑)
- 日程第5** 第71号議案から第91号議案まで、第3号報告及び報第13号
(提案理由説明)

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（20名）

- | | |
|------|---------|
| 1 番 | 土 谷 信 也 |
| 2 番 | 近 藤 紀 男 |
| 3 番 | 成 重 博 文 |
| 4 番 | 安 達 隆 |
| 5 番 | 山 田 秀 夫 |
| 6 番 | 松 本 博 彰 |
| 7 番 | 中山田 健 晴 |
| 8 番 | 河 野 徳 久 |
| 9 番 | 明 石 光 子 |
| 10 番 | 土 谷 力 |
| 11 番 | 村 上 和 人 |
| 12 番 | 鴛 海 政 幸 |
| 13 番 | 安 東 正 洋 |
| 14 番 | 北 崎 安 行 |
| 15 番 | 川 原 直 記 |
| 16 番 | 河 野 正 春 |
| 17 番 | 山 本 博 文 |
| 18 番 | 菅 健 雄 |
| 19 番 | 徳 永 浄 |
| 20 番 | 大 石 忠 昭 |

○欠席議員（0名）

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局 長	清 水 栄 二
庶務係 長	次郎丸 浩 一
議事係 長	岩 本 力
主 任	西 田 巨 樹

○説明のため議場に出席した者の職氏名

市 長	永 松 博 文
会計管理者兼市参事兼会計課長	
	甲 斐 智 光
市参事兼税務課長	後 藤 勲
市参事兼建設課長	筒 井 正 之
市参事兼消防長	渡 邊 和 幸
総務課 長	佐 藤 之 則
財 政 課 長	安 藤 隆 治
企 画 情 報 課 長	河 野 真 一
地域活力創造課長	藤 重 深 雪
市 民 課 長	山 田 真 一
保 険 年 金 課 長	飯 沼 憲 一
子育て・健康推進課長	植 田 克 己
ウェルネス推進課長	伊 南 富士子
環 境 課 長	榎 本 久 光
商 工 観 光 課 長	安 田 祐 一
農 林 振 興 課 長	大 力 雅 昭
農 地 整 備 課 長	都 甲 賢 治
上下水道課参事	早 尻 真 一
福 祉 事 務 所 長	川 口 達 也
地域総務二課長兼水産・地域産業課長	
	宗 直 長
総務課 総務法規係長	近 藤 毅
総務課 広報担当官兼秘書広報係長	
	都 甲 さおり

教育委員会

教 育 長	河 野 潔
市参事兼教育庁総務課長	佐 藤 清
教育庁学校教育課長	小 川 匡

○議長（河野正春君） おはようございます。

ただいまの出席議員は、20名で、議員全員の出席であります。

よって、平成26年第4回豊後高田市議会定例会は

12月3日

成立いたしましたので、開会いたします。

○議長（河野正春君） この際、諸般の報告をいたします。

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりでありますので、ご了承願います。

○議長（河野正春君） これより、本日の会議を開きます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承願います。

○議長（河野正春君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に1番、土谷信也君及び2番、近藤紀男君を指名いたします。

○議長（河野正春君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から12月18日までの16日間といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（河野正春君） ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から12月18日までの16日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付してあります会議予定表のとおりであります。

○議長（河野正春君） 日程第3、閉会中の継続審査となっておりますお手元に配付しております閉会中の継続審査結果表の第67号議案及び第68号議案を一括議題といたします。

これより委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員長、山本博文君。

○決算審査特別委員長（山本博文君） おはようございます。

決算審査特別委員長報告を行います。

去る10月23日、決算審査特別委員会を開会し、継続審査となっております決算議案2件の審査を終了いたしましたので、その結果を報告いたします。

第67号議案、平成25年度豊後高田市歳入歳出決算の認定について、及び第68号議案、平成25年度豊後高田市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを一括議題とし、審査を行いました。

執行部より大要の説明を受けた後、質疑を受けました。

4名の委員から質疑が出され、その主な質疑の内容については、「生活保護扶助費が増加している要因」、

「有害鳥獣対策の効果と今後の対策について」、「特定環境保全下水道にかかる水洗化の進捗状況」、「中心市街地魅力向上事業の事業効果」、「集落実態ニーズ調査を活用した今後の取り組みについて」、「婚活促進事業の事業概要」、「国民健康保険税の不能欠損の状況」などであります。

執行部からは、各質疑に対し、詳しく説明がありました。

第67号議案については、反対の討論がありました。

審査の結果、第67号議案については、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり、認定すべきものと決しました。

第68号議案については、全員異議なく、認定すべきものと決しました。

以上で、決算審査特別委員会審査結果の報告を終わります。

○議長（河野正春君） 以上で、委員長の報告を終わります。

これより、ただいまの委員長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（河野正春君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより 討論には入ります。

討論はありませんか。

20番、大石忠昭君。

○20番（大石忠昭君） 皆さん、おはようございます。

日本共産党の大石忠昭でございます。

私は、第67号議案に反対討論をいたします。

いつも述べておりますように市民の暮らしや福祉を守るための予算の執行、決算については当然賛成ですけれども、同意できない点がありますので、簡単に指摘し、ごく簡単な討論をしたいと思います。

最初は一般会計、歳入では、いつも述べておりますように、同和事業の住宅新築資金貸付事業の長期焦げつきが、本年度については例年より若干解消されていますけれども、大枠で焦げつき金が約6,000万円のまま、残っておりますし、また、特定の市民に貸し付けた市有地が営業用の駐車場として使用されながら、これが全然片付いてない決算でありまして承認できませんし、歳出につきましても特定団体、同和事業関係の補助金でありますけど、この特別法は既に17年前に終了しておりますして全国では、もう

廃止あるいは減額措置がとられておりますけど、豊後高田の場合は125万円が据え置きのまま組織の状況も前とぜんぜん違う状況でありながら、補助金だけは据え置きと、他の各種団体の補助金と比べてみましても整合性が問題でありますし、基本的には廃止をするべきだと思いますので、指摘しておきます。

さらに、県の事業主体の工事に対する負担金についても私どもは廃止あるいは負担率の減額を求めていますけれども、改善されておらず認定することはできません。

さらに、国保の会計でも不能欠損が前年よりも660万円増えて不能欠損の総額が2,500万円を超えると。合併前からみましても史上最大の不能欠損と。その額を引いてみても滞納総額が1億7,400万円に上っておりまして、国保特別会計の場合は徴収率が落ちて滞納額が増えれば増えるだけ、あと、国保の運営に支障をきたす制度でありまして、他の人との整合性から見ても問題がありますし、問題なのは払いたいんだと。しかし、今の自分の生活実態からいったら高すぎて払えないと、所得に比べて税率でみて個人の負担が重すぎるということが一番問題でありますので、市長が今後、政府関係機関に対しまして、国庫負担率を引き上げるように引き続き強力で働きかけをして、やはり国からの負担を増やして、市民の負担を軽減する措置をとることを意見として述べておきます。

なお、後期高齢者医療につきましてもこれは、当時から問題でありまして、国会でも廃止をして別な医療制度に切り替えるということが議論されてきましたけれども、そのまま据え置かれておりますし、さらに今度は低所得者対策が今、特別にとられているんですけれども、これがかなり撤廃されて、低所得者に対しても今後重たい負担になろうとしておりまして、この制度そのものに反対でありますので、決算にも反対いたします。それから、介護保険についても、今5期目なんですけど、確かに、今の年金生活者の所得に比べてみて負担率が重いということで、年金から天引きするからその点の滞納はないんですけれども、普通徴収についても滞納がかなりありますし、市長がこの5期の改定の時には低所得者対策で、市独自の軽減措置をとるということで、制度をつくりましたけど、1年間で1件か2件しか助成がされていないということなんですよね。それでやはり、相当、低所得者にとっては介護負担の保険料の負担が重いという声もありますので、負担軽減

に今後努力することを述べまして、この決算には反対するものであります。

議員各位のご賛同お願いしまして討論を終わります。

○議長（河野正春君） ほかに 討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（河野正春君） これにて、討論を終結いたします。

最初に、第68号議案を採決いたします。

本案は、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（河野正春君） 異議なしと認めます。

よって、第68号議案については、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに決しました。

次に、第67号議案を起立により採決いたします。

本案は、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（河野正春君） 起立多数であります。

よって、第67号議案については、閉会中の継続審査結果表のとおり認定することに決しました。

○議長（河野正春君） 日程第4、閉会中の委員会付託事件（議会活性化について）を議題といたします。

これより、委員長の報告を求めます。

議会活性化特別委員長、川原直記君。

○議会活性化特別委員長（川原直記君） 閉会中の継続審査となっていました「議会の活性化」についての、調査・検討が、終了いたしましたので、その経過と結果について報告します。

まず、昨年8月20日、第2回目の委員会を開催し、議長から「議会活性化について」の説明があり、本特別委員会として、「議会基本条例（案）」を作成する方向で調査・検討を進めていくことを、決定しました。

昨年9月20日、第3回目の委員会にて、議会基本条例（案）作成の参考にするため、すでに議会基本条例を制定している県内の市に視察に行くことを決定し、11月に、豊後大野市議会、竹田市議会、佐伯市議会に視察に行きました。

昨年12月10日、第4回目の委員会を開催し、今後は、委員3人で構成する作業部会にて、議会基本条例（案）を章ごとに作成していくことを決定し、今

12月3日

年の1月から5月までにかけて、計12回の作業部会を開きました。

作業部会において、議会基本条例（案）の形が、出来上がりましたので、6月12日、第5回目の委員会を開催し、今後は、「委員全員で構成する作業部会などにて再度検討する。」、「執行部との協議を行う。」、「全員協議会で報告を行う。」、「パブリックコメントを行う。」などの決定をしました。

6月から10月までの間に、計10回の作業部会の開催、また、8月から10月にかけては、執行部との協議を平行して行いながら、議会基本条例（案）の修正を加えていきました。

10月8日、10日、第6回、第7回目の委員会を開催し、執行部との最終協議前時点での議会基本条例（案）の決定をしました。

10月20日に、執行部との最終協議を経て、第8回目の委員会を開催し、議員全員協議会前時点での議会基本条例（案）を決定しました。

10月23日には、議員全員協議会で議会基本条例（案）の説明を行いました。

11月には、15日間の期間を設け、市民の意見を聴くパブリックコメントを実施し、市民から、13項目の意見の提出がありました。

11月21日、第9回目の委員会を開催し、市民の意見に対する市議会の考え方の検討を行い、13項目すべてにおいて、市民の意見の反映は行わないということで、最終的な本特別委員会としての豊後高田市議会基本条例（案）を決定したところでございます。

議会基本条例（案）の内容につきましては、先般の議員全員協議会で説明した時の条文と変わっていませんので、省略したいと思いますが、今期定例会最終日に、豊後高田市議会基本条例の制定についての議案を提出させていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

以上で、議会活性化特別委員会、審査結果の報告を終わります。

○議長（河野正春君） 以上で委員長の報告を終わります。

これより、ただ今の委員長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（河野正春君） 質疑なしと認め質疑を終結いたします。

○議長（河野正春君） 日程第5、第71号議案から第

91号議案まで、第3号報告及び報第13号を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長、永松博文君。

○市長（永松博文君） 本日ここに第4回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは、提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まず、新庁舎建設の進捗についてでございます。

新庁舎建設につきましては、現在、基礎工事を行っているところでございまして、年内に完了の見通しとなっております。そして、この後の上部躯体工事が始まりますと、新庁舎の姿が徐々に現われてくることとなります。

工程につきましては、当初の計画どおり、平成27年11月末の完成に向け、工事を進めているところでございます。

次に、国東半島の新たな魅力の入口として、現代アートを活用した取り組みであります国東半島芸術祭についてでございます。

本市の主な取り組みといたしまして、平成24年度に長崎鼻、平成25年度は並石ダムグリーンランド、そして本年度は、真玉海岸の近くに、恒久設置のアート作品を展示いたしました。

最終年度の本年度は、10月からの2カ月間を会期として実施いたしましたが、これまでのアート作品に加え、チームラボの人気もございまして、国内はもとより外国からもご参加いただきまして、目標動員数をはるかに上回る、全体で6万28人、本市には3万7,803人の方にお越しいただき、盛会裏に閉幕することができました。

今回の取り組みにより、本市の情報発信と「芸術」という新たな魅力の創出ができたものと思っております。

今後におきましても、多くの方にご覧いただけるよう、引き続き取り組みを進めてまいりたいと考えております。

次に、花いろ温泉、夷谷温泉のリニューアルについてでございますが、現在、大分県が戦略的に推進する「おんせん県おおいた」の取り組みと連携する中で、くにさき六郷温泉のさらなる魅力の向上と一体的な振興を目的としまして、温泉施設を改修いたしました。

まず、花いろ温泉につきましては、泉質の良さを

活用するため、源泉かけ流し風呂及び冷鉱泉風呂を新たに設置するとともに、和風、洋風が際立つ露天風呂への改修を行い、10月18日にオープンいたしました。

また、夷谷温泉につきましては、風情ある山間のひなびた温泉施設を目指し、周囲の景観と調和した和風の外観及び内装への改修を行いました。さらに、自然石と植栽に囲まれ、落ち着いて温泉を楽しめる、男女の露天風呂を新たに設置し、12月6日にオープンいたします。

この度のリニューアルにより、これまで以上に市民の皆さんに温泉を楽しんでいただける施設として、また、新たな観光拠点施設として、市内外より更なる集客を図りたいと考えております。

次に、大分北部中核工業団地において、自動車用防振ゴムの製造を行っております株式会社TRI九州が、10月28日に、増設表明を行いました。この増設に伴い、20人以上の新規雇用も予定されており、本市の産業振興、雇用面において、大いに期待しているところでございます。

次に、防災対策といたしまして、11月5日「津波防災の日」に、市内一斉の情報伝達訓練を行いました。これは、大地震や津波が発生した場合の放送内容を市民の皆さんに知ってもらい、迅速な避難行動につなげていただくことを目的に実施したものでございます。

市内の幼稚園や小中学校では、放送を聞いて、机の下にもぐるなど、身を守る訓練に取り組んでいただきましたし、市役所でも、職員が来庁者の安全確保、負傷者の搬送、安否確認、その後の災害対策本部設置までを想定した訓練を実施し、大規模災害時の対応を、確認したところでございます。

また、本年度は、校区単位での、より実践的な防災訓練を予定しておりまして、12月7日に三重地区と常盤・湯原・上真玉地区、来年1月25日には東都甲地区、西都甲地区での総合防災訓練を予定しております。今後につきましても、市民の防災意識の高揚、地域防災力の向上に取り組んでまいり所存でございます。

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その概要をご説明申し上げます。

第71号議案の平成26年度一般会計補正予算につきましては、1億7,688万4,000円の増額で、補正後の予算総額は、157億3,413万2,000円となります。

その財源につきましては、国庫支出金、県支出金、

寄附金、繰入金などでございます。

補正の内容につきましては、まず、総務費では、大幅に増加しているふるさと納税に係る地域振興基金積立金を増額する「基金管理費」、ふるさと納税に係る記念品代等を増額する「豊後高田ふるさと応援寄附金推進事業」、大分県から購入した県職員住宅を、高田高校の生徒の寮として活用するための改修費用を計上する「県有財産活用事業」などを計上しております。

民生費では、買い物等に不安を抱える高齢者を支援するため、移動販売の基盤整備に対して補助を行う「里のくらし楽々安心支援事業」、地域コミュニティの再生と介護・認知症予防を行うための拠点整備に係る費用を計上する「地域包括ケアシステム構築支援事業」などを計上しております。

衛生費では、歩くことによる健康増進を図るため、歩数計の購入費を増額する「歩こう豊後高田大作戦事業」などを計上しております。

教育費では、ふるさと納税を活用し、市内小中学校の学校図書館の図書の実質充実を図る「豊後高田ふるさと応援夢実現文庫整備事業」などを計上しております。

なお、人事院勧告等に準じた給与改定や退職者の増、人事異動等による調整等に伴う人件費の補正について、今回計上しております。

その他の歳出の概要につきましては、参考資料として事業一覧表を配布させていただいておりますので、説明を省略させていただきます。

次に、特別会計についてでございます。

第72号議案の簡易水道事業特別会計につきましては、611万5,000円の増額で、補正後の予算総額は、1億1,462万7,000円となります。補正の内容につきましては、人事院勧告等に準じた給与改定、人事異動による調整等に伴う人件費の補正及び大村団地連絡管の布設に係る口径拡大分の経費に係るものであり、その財源は一般会計繰入金及び地方債でございます。

第73号議案の公共下水道事業特別会計補正予算につきましては、92万2,000円の増額で、補正後の予算総額は9億3,936万4,000円、第74号議案の特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算につきましては、31万3,000円の増額で、補正後の予算総額は2億4,734万7,000円、第75号議案のケーブルネットワーク事業特別会計補正予算につきましては、105万7,000円の増額で、補正後の予算総額は5億4,187万9,000

12月3日

円となります。

補正の内容につきましては、人事院勧告等に準じた給与改定や人事異動等による調整等に伴う人件費の補正に係るものであり、その財源は一般会計繰入金でございます。

第76号議案の水道事業会計補正予算につきましても同様に、人件費の補正に係るものでございまして、291万7,000円の減額で、補正後の収益的収支予算額は2億3,576万4,000円となります。

次に、予算以外の議案及び報告についてでございますが、各議案の末尾に提案理由を付していますので、その全てについての説明は省略し、主なものについてご説明申し上げます。

第77号議案は、城台住宅団地の分譲について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議決を求めるものでございます。

第78号議案から第83号議案につきましては、新たに指定管理制度を導入いたします住まいのハウス及び共同施設、真玉B&G海洋センターをはじめ、6つの公の施設について、その管理を行わせる指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議決を求めるものでございます。

第84号議案、市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例等の一部改正、第85号議案、職員の給与に関する条例の一部改正につきましては、いずれも、国家公務員の給与に関する人事院勧告等を勘案し、市議会議員並びに市長、副市長及び教育長は期末手当の支給率を、一般職職員は給料月額及び勤勉手当の支給率を改定するものでございます。

第87号議案は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定についてでございます。児童福祉法の改正に伴い、放課後児童クラブの設備や運営について基準を定めるものでございます。

第88号議案は、市営墓地条例の制定についてでございます。市内来縄に市営墓地を新設するため、必要な事項を定めるものでございます。

第89号議案は、国民健康保険条例の一部改正についてでございます。健康保険法施行令の一部改正等に伴い、被保険者とならない者の見直し、及び出産育児一時金の見直しを行うものでございます。

第90号議案は、公民館条例の一部改正についてでございます。旧三重小学校の校舎を三重公民館と

して活用するため、住所を変更するものでございます。

第91号議案は、水道事業の設置等に関する条例の一部改正についてでございます。白野の一部を給水区域に編入するものでございます。

第3号報告の平成26年度一般会計補正予算につきましては、第47回衆議院議員総選挙及び第23回最高裁判所裁判官国民審査に係る予算の専決処分をいたしましたので、承認を求めるものでございます。

報第13号は、損害賠償の額の決定及び示談についてでございます。事故について地方自治法第180条第1項の規定に基づき専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

以上で本定例会に提案いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（河野正春君） 以上で本日の日程は、全部終了いたしました。

あすから12月8日まで休会いたします。

次の本会議は、12月9日、午前10時に再開し、議案質疑を行います。

なお、議案質疑の通告は、あす正午までに提出願います。

本日はこれにて散会いたします。

午前10時35分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

豊後高田市議会議長 河野正春

豊後高田市議会議員 土谷信也

〃 近藤紀男